

平成 30 年 7 月豪雨に係る災害復旧事業等の進捗状況について

技術企画課
道路整備課
河川課
砂防課
流域下水道課

1 要 旨

平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した公共土木施設の災害復旧事業について、進捗状況と見通し等について報告する。

2 災害復旧事業の進捗状況

災害復旧事業として採択された、県が管理する公共土木施設 2,550 箇所（査定決定箇所数）の令和2年10月末時点での進捗状況は、次のとおりである。

（単位：箇所）

建設事務所（支所）等	災害復旧事業被災箇所数（査定決定ベース）※1				
		発注済※2		完成	発注予定
			契約済		
西部	479	378	376	135	101
呉	222	209	209	93	13
廿日市	11	11	11	11	-
安芸太田	30	30	30	27	-
東広島	517	417	387	160	100
東部	450	450	450	336	-
三原	459	434	424	225	25
北部	143	143	143	120	-
庄原	236	236	224	122	-
広島水道	3	3	3	3	-
全体 （R2.10月末時点）	2,550	2,311 (91%)	2,257 (89%)	1,232 (48%)	239 (9%)
参考 （R2.9月末時点）	2,550	2,258 (89%)	2,199 (86%)	1,193 (47%)	292 (11%)

（※1）県が管理する公共土木施設で工事費120万円以上の災害復旧事業として採択されたもの。

（※2）公告または指名通知済のもの。

《令和2年10月に完成した災害復旧事業の一例》



（砂）三谷川（安芸郡熊野町初神）



（二）高野川（東広島市安芸津町）

3 事業進捗上の課題

- ① 竹原市及び東広島市などの地域においては、依然として、地域内事業者の手持ち工事量が多く、必要な主任（監理）技術者の融通や下請業者の確保が困難なことから、不調・不落となるケースが発生している。
- ② 令和2年に発生した災害（県管理公共土木施設；348箇所、約60億円）のうち早期に復旧工事に着手する必要のある箇所が一定数以上あることから、災害復旧事業全体の今後の事業進捗への影響が懸念される。

4 事業進捗の見通しと取組

主任技術者の工事兼務制限の緩和等、受注環境の整備を図ってきたところであり、平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業は令和2年10月末時点で89%の工事が契約済となり、48%の工事が完成した。

人家に近接した箇所など県民生活に影響の大きい箇所については、令和3年の出水期までに完成させ、残る箇所については、令和3年度中の完成を目指す。

（主な取組内容）

- ・ 今後の発注予定箇所の年度内契約に向けて、不調・不落が発生している地域において、工事箇所毎に異なる不調・不落の発生要因をより詳細に把握するため、建設事業者へ工事の稼働状況、技術者や下請業者の確保状況と今後の見通し等について聞き取りを行い、最適な工事の規模や時期等を踏まえた対応を講じる。
- ・ さらに、令和2年災も含め、人家に近接した箇所など県民生活に影響の大きい箇所から優先的に完了させるなど、計画的に執行する。

5 改良復旧事業の進捗状況

被災箇所が連続するなど再度災害防止の観点から、県が事業主体となり、一連で対策を講じる改良復旧事業については、5年以内での事業完了を目指しているところであり、進捗状況は次のとおりである。

区分	事業名	進捗状況（予定を含む）			完了見込み
		用地	工事（工事数量に対する割合）		
			契約	完了	
道路	主要地方道 呉環状線【災害関連事業】	境界立会：50% 用地取得：0% （工事施工承諾済み100%（公団混乱区域のため、地図訂正の作業中））	護岸工：100% 法面工：100% 橋梁下部工：100% 橋梁上部工：0% 舗装工：0%	護岸工：24% 法面工：0% 橋梁下部工：0% 橋梁上部工：0% 舗装工：0%	令和3年度中
河川	沼田川及びその支川 【河川激甚災害対策 特別緊急事業】	境界立会：100% 用地取得：0% （令和2年9月着手）	護岸工：34% 掘削工：77% 堰改築工：100%	護岸工：1% 掘削工：63% 堰改築工：0%	令和4年度中
	三篠川 【災害復旧助成事業】	境界立会：97% 用地取得：27% （工事施工承諾済み42%）	護岸工：44%	護岸工：2%	令和4年度中
砂防	ひよき川 【災害関連事業】	境界立会：100% 用地取得：82%	渓流保全工：52%	渓流保全工：2%	令和3年度中

《三篠川【災害復旧助成事業】の進捗状況》（10月末時点）

【平面図】

